

トピックス

乗り心地を向上する上下制振制御システムが「ゆふいの森」に搭載されました

鉄道総研が日立オートモティブシステムズ株式会社と共同で開発した「可変減衰上下動ダンパーによる制振制御システム（上下制振制御システム）」が九州旅客鉄道株式会社の特急列車「ゆふいの森」（キハ70形・キハ71形特急形気動車）に搭載されました。このシステムは、車体を支えるばね（まくらばね）と並列に可変減衰機能を持つ上下

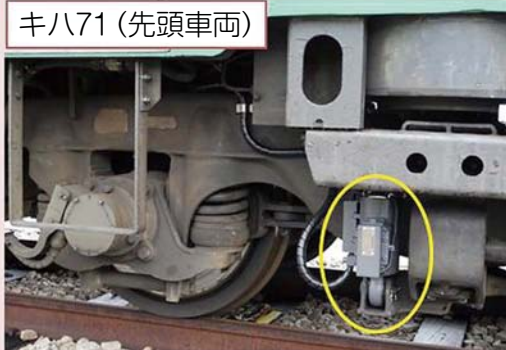
方向の油圧ダンパーを取り付け、このダンパーの減衰力を加速度センサーで測定した車体の振動に合わせて制御し、振動を抑制するもので、九州旅客鉄道株式会社の「指宿のたまたま箱」をはじめ、「はやとの風」、クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」、JRKYUSHU SWEET TRAIN「あまる列車」にも搭載されています。



「ゆふいの森」外観（九州旅客鉄道株式会社）

可変減衰上下動ダンパー

キハ71（先頭車両）



キハ70（中間車両）

